

## 看護部研修会「公開講座」の開始にあたって

現任看護師教育委員会 7S 病棟師長 宇田 映子



超高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムが推奨されている現在、地域病院との連携は重要な課題の一つです。その中で看護師はテクニカルスキル・ヒューマンスキル・コンセプチュアルスキル等を身に付け地域連携の要として活躍することが期待されています。

今年度、現任看護師教育委員会では、今までの院内スタッフ対象の研修会を、近隣の病院や施設、看

護学校に参加を呼びかけ、「公開講座」としてオープン開催と致しました。土曜日の午後(13:30~16:30)、永頼会館 2 階多目的ホールで、順次、6 月:脳卒中看護(初級・上級)、7 月:フィジカルアセスメント(初級)、8 月:皮膚・排泄ケア(初級・中上級)、RST コース I、9 月:RST コース II と開催しました。

各講座の講師は認定看護師が担当し、院外からは毎回約 30~50

名の参加がありました。「最新の専門的知識を分かり易く説明してもらい、勉強になった。また参加したい」という感想を頂いております。

「公開講座」を通して、顔の見える地域医療連携の促進と社会貢献が期待されます。

今後は、10 月:フィジカルアセスメント(中上級)、11 月:RST コース III、12 月:救急看護の講座も開催予定です。ぜひお越し下さい。



## 「親子ふれあい参観日 ~ 白衣のお母さんに会ってみよう ~」を開催!

ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進委員会 4N 病棟師長 泉 君香



WLB 推進委員会は看護協会推進事業に参加し、職員が生活と仕事の両立や働き方についてどう考え、感じているのかを知り、職員のモチベーション向上を目指し活動に取り組んできました。

今年、3 年目の試みとして病院職員に呼びかけ、夏休み期間中の 8 月 2 日、7 階多目的ホールに親子 50 名が集まり「親子ふれあい参観日」を遂行しました。

家庭での親とは違う職場での雰囲気や仕事の疑似体験を親子で共有することで、看護のすばらしさや仕事に対する理解を深める機会となりました。

血圧測定や車いす・ストレッチャー移送体験、ムラージュした傷の消毒や包帯巻き、実際に手術器具に触れ、ガウン装着後の写真撮影など終始笑顔で、様々な体験と楽しい時間を過ごしました。

最後に子供達からお父さん・お母さんへ「手紙」のプレゼントがあり

「明日からの仕事も頑張ろう!」との意気込みへと繋がったのではないのでしょうか。

今年は初めての試みで小規模な開催でしたが来年は、より多くのスタッフを対象とした夏の一大イベントとして継続を目指し、今から楽しみに考えています

